

令和3年9月定例教育委員会会議録

令和3年塩尻市教育委員会9月定例教育委員会が、令和3年9月22日、午後1時30分、塩尻市役所本庁舎5階大会議室に招集された。

会 議 日 程

1 開 会

2 前回会議録の承認

3 教育長報告

- 報告第1号 主な行事等報告について
報告第2号 10月の行事予定等について
報告第3号 後援・共催について

4 議 事

- 議事第1号 塩尻市立小・中学校管理規則等の一部を改正する規則
議事第2号 自家用車の公務取扱規定及び塩尻市立小・中学校職員服務規程の一部を改正する訓令
議事第3号 塩尻市芸術文化振興事業補助交付要綱等の一部改正

5 閉 会

○ 出席委員

教育長	赤 羽 高 志	教育長職務代理者	碓 井 邦 雄
委員	小 林 夕 香	委員	石 井 勉
委員	徳 武 あ ゆ 子		

○ 説明のため出席した者

こども教育部長	青 木 正 典	生涯学習部長	胡 桃 慶 三
こども教育部次長 (教育総務課長)	太 田 文 和	生涯学習部次長 (社会教育スポーツ課長)	田 下 高 秋
こども課長	竹 中 康 成	平出博物館長	小 松 学
家庭支援課長	植 野 敦 司	市民交流センター 長(図書館長)	上 條 史 生
主任学校教育指導 員	黒 澤 増 博	文化財課長	中 村 琴 江

○ 事務局出席者

教育企画係長	佐 藤 智 樹
--------	---------

1 開会

赤羽教育長 皆さん、こんにちは。この3連休ですが、晴れ渡った後半の青空の下、郊外の田んぼでは、家族や親戚が集まって稲刈り作業をしていました。刈り取った稲をはぎに掛けて天日干しする、毎年恒例の秋の風景でありました。ブドウ棚の横を歩きますと、甘いブドウの香りが漂ってまいります。本格的な秋を迎えました。

ただいまから9月定例教員委員会を開会いたします。よろしくお願いいたします。

2 前回会議録の承認

赤羽教育長 次第に従いまして、2番、前回会議録の承認について事務局からお願いいたします。

佐藤教育企画係長 前回、8月定例教育委員会の会議録につきましては、既に御確認をいただいております。本会議終了後に御署名をいただきますので、よろしくお願いいたします。

赤羽教育長 よろしいでしょうか。

〔「はい」の声あり〕

赤羽教育長 では、そのようにお願いいたします。

3 教育長報告

赤羽教育長 3番、教育長報告に入ります。私からは2点報告させていただきます。

1点目です。学校ですが、2学期がスタートして1か月が経過しました。新型コロナウイルス、デルタ株の猛威で、子どもたちへの感染が急拡大し続けた8月、そして9月の上旬でしたが、長野県では30名くらいまでに減少した後、9月20日には8名、昨日の21日は7名と、ようやく落ち着きを見せ始めております。保育園、学校、児童館では、登園・登校する子どもたちを守るために、感染予防対策を講じながら、緊張感の続く日々を送っております。

私は学校現場に赴き、小学校2校を視察いたしました。両校とも感染防止対策をしっかりして、授業を止めない工夫をしておりました。8月です。罹患者との接触があった子どもたちはPCR検査を行い、結果が判定するまで自宅待機となったことから、学級によっては半数が欠席状態でありました。該当学校では、出席できない子どもたちに配慮して学習進度をゆっくり目にしたり、登校していた子ども達には、1学期の復習をしたり、午前中の授業に日課変更したりして対応しておりました。兄弟関係でも、自宅待機になった高学年の子どもたちには、タブレットを使った双方向のオンライン授業を進めている学級がありました。黒板の字までは見えないが、みんなと一緒に授業に参加していてよかったという感想が担任に寄せられました。

感染防止対策では、全学級で朝の健康観察を強化していました。同居家族の体調、他県への往来など、調査していました。微熱があって登校した子には、保護者をお願いして早退させる体制を継続していました。教頭先生にお聞きすると、保護者には頼みにくいことだけでも、全校児童とその子と両者を守るために必要なこととして、保護者には理解をいただいておりますと話されました。給食室前の廊下には、給食を運ぶ子どもたちが密になるということで、混雑を避けるために、ビニールテープを間隔を置いて5列貼ってありました。給食

当番の子どもたちが密集しないような対策です。その都度、口頭で指導するのではなくて、表示によって整然と並ぶことができる見事な対策だと思いました。集まってきた4クラス、5クラスが徐々にずれていき給食を取る工夫です。

また、新型コロナウイルスの感染が拡大している中、最前線で戦っていただいている医療従事者等のエッセンシャルワーカーの皆さんに対する誹謗中傷は、決して許されるものではないということにつきまして、学校では、これまで児童生徒に対して、新型コロナウイルスに関わる差別や誹謗中傷等については絶対してはならないということで指導してまいりました。この2学期、改めて校長先生方を先頭に、コロナ誹謗中傷防止への力強いメッセージが各学校から発信されました。学校での取り組みを家庭内、地域の皆さんにも知っていただくことを大切に考えて、学校ホームページを通じての情報発信や学校だよりによる取り組みが多数ありました。また、今年度も児童会役員の呼びかけで、シトラスリボンづくりを通して、全校を挙げての取り組みを行っている学校もあります。私は頼もしく感じました。

この後、保育園では保護者が楽しみにしている運動会、小学校では音楽会、運動会、6年生の修学旅行、中学校では間もなく文化祭、3年生の進路指導、1、2年生の部活動などの学校行事が行われます。どの行事も実施することに大きな価値があるのかなと考えます。感染対策を講じて、規模の縮小、見学、方面の変更など検討を重ねて、ぜひ実施して欲しいと思います。

続いて、2点目です。9月年間計画では、小学校5校の運動会が予定されていましたが、新型コロナウイルス感染予防のため、4校は10月に延期されました。この9月19日日曜日ですが、台風一過、青い秋空の下、木曾檜川小学校で小学校最後の運動会が行われて、私は参加してきました。全校児童61名、一人一人の子どもたちが全力を出し切って、仲間と力を合わせて頑張っていました。運動会スローガンが校舎のところに貼ってありました。「全力・協力・最高の運動会に」と掲示されていました。当日、見事に達成できたのだなということを感じました。

まず始めに行われたラジオ体操は、どの子も、特に低学年ですが、指先までぴっと気持ちがいいほど伸びているというか、指導もあったと思うのですが、やる気が見ている側に伝わってまいりました。高学年は組み体操ではなくて、カラフルな旗を使ってのマスゲームでした。呼吸がぴったりと合って、ちょうど風も吹き、旗が風になびき、全員で旗を振り下ろすときに旗の音がパタパタとそろって聞こえてくる。後半はNHK2020ソングのカイトの曲が流れ、全てが融和し、見る側はみんなとりこにさせられました。私は東京オリンピック・パラリンピックの選手たちの活躍の姿が重なってきて、目頭が熱くなりました。周りにいる保護者も涙している方がたくさんいました。子どもたちは運動会を通して達成感を味わい、自信を持って、これからの学校生活に果敢にチャレンジしていくのかなということを思いました。私も、子どもたちの真摯な姿からエネルギーを頂きました。この後、市内の保育園各園、学校の運動会が楽しみであります。

木曾檜川小学校ですが、来年度開校します義務教育学校に向け、校舎改築も進んでいました。児童玄関にあった同じ高さの下足箱が全部取り払われまして、低学年用から段々に高くなっていくアイデアで、ユニークな下足箱でした。その一番上には、教育委員会の集中管理の皆さんがつくったという手作りの学年プレートが置かれていました。また、基礎工事から出た残土があります。その残土は、捨てるのではなく、新たにランニングコースをつくる土

の材料として再利用したアイデアも教えていただきました。

新しい9年間を見通した教育課程の策定をし、義務教育学校が開校するまで、あと半年であります。地域の皆様の御協力をいただき、教育委員会としてもしっかりバックアップしていきたいということを改めて感じました。私からの報告は以上であります。

それでは、報告に関しまして御質問、御意見、それから実際にイベントに参加されました委員の皆様で、その意見、感想がありましたら、この後出していただきたいと思います。よろしく願います。では、いかがでしょうか。

石井委員 皆さん、こんにちは。よろしく願います。まずは、継続しての感染症対策、それぞれのお立場で最善を尽くしていただいていることに感謝を申し上げます。報告にもありましたが、幸いにして、甚大な被害というような状況にはなっていないわけでございますけれども、コロナをはじめ、各ウイルスも必死でございますので、まだまだ共存への道は険しいのではないかと考えております。

先日、小学校の教頭先生とお話の中では、子どもたちには基本的なマスク、うがい、手洗いといった予防を徹底して、再度声をかけていくというお話をお聞きいたしました。ともすると緩みがちな面かと思しますので、参考になるお話でございました。ただ、学校で言いますと、やはり行事が今までとは違ってきているということで、戸惑いもまだ拭いきれないのではないかと思います。

学校へ直接、なかなか足を運ぶ機会も減ってしまっておりますので、ニュース、報道といったところに目を向けるわけですが、最近の報道の中では、ICT、GIGAスクールに関する報道が増えてきているような印象を受けます。その中で9月18日、片丘小学校でオンラインの参観日が行われたという報道がありました。なかなか思い切った試みをしたのだなというように注目をさせていただいたわけですが、まだ比較的新しい取り組みであるかと考えれば、それに至った経緯ですとか、実施してみてもの成果、それから今後への課題といったものも見えてきているかと思しますので、どのような内容、状況なのかをお聞かせいただければと思います。

赤羽教育長 関連してございますでしょうか。

太田子ども教育部次長（教育総務課長） 今回の片丘小学校の取り組みにつきましては、ICT支援員をお願いしております振興公社と学校が協力して、こんなことができないかということで、取り組みを進めていたところでございます。

私も、振興公社からのプレスリリースを出しますがという連絡を受けて、初めて知った内容でございまして、お恥ずかしながら全ては把握できていないところがあるのですが、今年の夏休みにおいても、3校ほどがタブレットを家に持ち帰ったりしながら、授業ではないのですが、実際に学級活動みたいな形で取り組んだりしております。

その中で、片丘小学校が授業を自宅からリモートで扱っているということで承知しているところです。記事にもございましたが、課題となるのが、実際に担任の先生から、子どもたちの表情がつかみにくかったりするというので、その辺をどうやって画面越しに埋めていくことかと思うのですけれど、あくまでもタブレット端末は1つの道具、文房具でございますので、これは全てではありませんので、それを上手にバランスよく使っていくということが大事かと思っております。今回の事例については、またICTの研究委員会がありますので、そういったところで、ほかの学校とも共有しながら生かしていけたらと思っております。

ろです。以上です。

石井委員 御回答ありがとうございます。家庭への持ち帰りというお話がございました。オンラインでやったわけですから、当然家庭にタブレットを持って帰ったかと思うのですが、やはり家庭での取り組みといたしますか、理解度、スキルの違いというものは見えてくるのかなというふうに感じております。恐らく振興公社の側でもその辺は課題に挙げておるところかと思しますので、これは可能な限り早く埋めていくべきギャップかと思しますので、進めていただければというふうに感じております。

あと、家庭への持ち帰りで注意したいなと感じているのは、これは全国のニュースになりましたが、タブレットを通じてのいじめでの女児の自殺、実際に起こってしまったわけですね。それぞれの家庭も含めた利用側がどこまでそういった危険性を理解していたのかどうか、先走り感があったのかなとも思いますし、その辺はスピーディーに理解を深める必要があるのかなと思っておりますので、今後の課題にしっかり盛り込んでいただければと思います。以上でございます。

赤羽教育長 ありがとうございます。では、続けてございましたらお願いいたします。

徳武委員 先月の定例委員会の後、平出博物館の縄文土器サミットに行ってみりました。子どもを連れて早速行ってきたのですけれども、大変興味深く見させていただきました。とてもたくさんの土器が全国から来ていまして、現地に行かないと見られないようなものが平出で見られるというのがすごく貴重な経験だと思います。それで、こんないいものが来ているのに市内の子どもたちは見られたのかなということがありまして、うちは特に地元なので、皆さん見に来ていただけたらなと思ったのですけれども、平出博物館の前の道路のところに縄文土器サミットを今やっていますとか、そういうちょっとしたポスターか何かがあると、みんなもっと気づいていただけるのではないかなと、それはすごく感じました。また、帰りには子どもが喜ぶような工作キットも頂きまして、地元の小学生が来たら本当に喜ぶのではないかなと思って、とても楽しく見てまいりました。ありがとうございました。

赤羽教育長 息子さんはどんな感想を持って。

徳武委員 これが平出で、これがほかの県だと比べながら見たりですとか、ちょうど今、日本地図のこの辺だとかというのをやったりした後だったので、どの辺のものかというのを興味深く見ていましたし、あと掘り出したときの土器の状態、この辺が欠けている、ここの部分はないとか、あとは人の形をしたもの、もちろん土偶のようなものもありましたので、そういうところはすごく興味があったのかなと思います。すごく楽しかったです。

赤羽教育長 子どもにとっては、比較というのは大切ですね。

徳武委員 わざわざそれを見に東北に行くということではできないので、本当にいい企画だったなと思いました。ありがとうございました。

小松平出博物館長 ありがとうございます。今、委員がおっしゃられておりましたけれども、PRの関係で、あの周辺に大きいポスターとか、そういったものにつきましては、入り口とか、あとガイダンス施設とか、そういったところには展示してあるのですが、今後そのほかのちょうどたまたま通ったような人にも目が向くような形でこれからPRをさせていただきたいと思います。また、今回青森とか秋田も伺いまして土器のほうをお借りして展示しましたがけれども、今後いろいろな方面のから、いろいろな借用もしまして、普段見られないものを見られるような企画展等を実施したいと思っておりますので、その際はまたお越しいた

できればと思います。ありがとうございます。

赤羽教育長 ありがとうございます。続いてございますでしょうか。

小林委員 本当に恥ずかしいのですが、質問させていただきます。今さらの今さらで、木曾檜川小学校の運動会のことが市民タイムスに載っていきまして、うちの主人がそれを読んで、木曾檜川小学校どうにかなっちゃうのって。やはり義務教育学校になるという意味が分からない。でも、自分は教育委員として、ずっと義務教育学校になっていくという話を聞いていたので疑問に思わなかったのですけれど、分かりやすく言えば中高一貫が小中一貫になるみたいなそういうこと、みたいな説明しかできなかったのです。義務教育学校になるということで、できれば塩尻市内のお子さんたちで檜川に転校してもらったりとか、そういうこともくろみの中にあると思うのですが、あまりにも、この文字だけではちょっとPRにならないというか、そんな感じもしました。

また、贄川の辺りに知り合いがいて、30歳代ぐらいの方で、檜川中の卒業生なのですが、今度こういうふうになるのだけれど知っているって尋ねたら、知らない、何の話って、地元の方でもそんなこと言ってしまっているのかしらと思うくらいなことがありましたので、義務教育学校ってどうしてそういう言い方をするのか、分かったら教えていただきたいなと思っております。

太田子ども教育部次長（教育総務課長） 義務教育学校につきましては、小中一貫教育をさらに分かりやすく進めるためのものなのですが、小学校中学校を一体的に取り組むという中で、小中一貫教育というものの新たな位置づけと申しますか、国のほうで位置づけたのが義務教育学校という名称でございます。分かりやすく言うと、小中一貫教育の1つの形という形で覚えておいてもらえば間違いのないと思います。

それから、檜川地区の義務教育学校につきましては、開校準備委員会を地域主導で設置しております。地域の役員の方や、それからPTAの関係、保育園の保護者の関係、多くの方に協力いただいて、地域が主体となって進めているところでございますので、今委員さんのお話があった、私は知らないよという地元の方がいたというのは、ちょっと私もショックを受けたところでございます。地域のほうからアンケートを全戸に取ったりですとか、その結果をチラシで配ったりしておりますので、住んでいらっしゃる方が情報を得ていかなければいけない内容かなと思っておりますので、よろしくお願ひします。

小林委員 ありがとうございます。広報があったはずだよって言ってしっかり伝えておきます。

ほかの件です。以前からもお話が時々出ているのですが、生理の貧困で、塩尻市のほうで取り組んでいて、最初の頃44件の問い合わせがあったというお話だったのですが、ほかの地域の報道とかを見ていると2件ぐらいしかなかったりとか、宣伝し足りないのかと悩んでいるという話を聞くので、塩尻市の44件というのはかなり手応えがあったと思っていのかと私はほかの情報を集めて感じました。毎月毎月のことなので引き続き支援をしていただいているかと思うのですが、最近またそういうことがニュースで、今日の朝だったかも岐阜市だか岐阜県だかでやっていますということが報道の中で梱包作業風景も紹介されていました。男性には分かりづらいかもしれないのですが、それを見て思ったのですが、多分生理用品のメーカーさんから寄附されたものとかを使っているのが主なかなと思うので、大体見ると同じようなメーカーの同じようなものが配布されているようなんです。でも女性からすると使い勝手とか、好みとか、自分の体調に合わせてとか、皮膚が弱

いとか、いろいろなことで多分選びたいと思うのですよね。なので、支給されてそれでいいじゃないかで済まさないで、やはりその人の体に合ったものを選べるというのが一番いいのかな、なんてことを最近感じていました。できればそういうものを自由に購入できるようなクーポン券にして差し上げるとか、もちろんそのメーカーで体に合っているのであればそれを差し上げればいいのですけれども、支援される側からすると、もらっているから何も言えないみたいになってしまわないような支援のほうを検討していただきたいなというふうに思っています。

それと、マスクはどうなっているのかなと思って、マスクも毎日毎日替えるものですし、それこそ家族で大勢いれば100枚入っていたって1か月で終わってしまうくらいのペースです。マスクもそういうふうに消耗品なので、貧困家庭への支援という意味でどんなものが支援としてされているのかなと思って、そこら辺はどうなっているのか、塩尻市にはフードバンクみたいなものがあるのかなのか、ちょっとそこら辺もお聞きしたいなと思っています。以上です。

赤羽教育長 では、分かる範囲で。

田下生涯学習部次長（社会教育スポーツ課長） 生理貧困対策につきましては、女性問題ということで社会教育スポーツ課の共生推進係、昔の男女共同参画の部分で担当させていただいております。プロジェクトをききょうプロジェクトという名称でスタートさせましたが、庁内の女性職員による検討によりまして、女性目線で取りに来る方が抵抗なく取りに来られるような事業にしなければいけないということで、事業内容を検討いただいた経過もございまして、出だしから塩尻市としては、他市と比べて御利用いただけた事業となっております。

用品につきましては、防災備蓄用にございました使用期限があともうわずかで切れるというナプキンを危機管理課から譲り受けまして活用しております。ですので、特別に予算措置を伴って購入したりしたものではありませんので、メーカーを選べる形はとっております。その後、商工会議所の女性部であるとか個人の市民の方から若干御寄附もいただきまして事業は継続しておりますが、今持っているものがなくなれば、予算がないものですから、それでプロジェクトの終了という形になってしまうので、継続的に各種団体のほうに御協力いただけないかということで御寄附をお願いしているのが現状でございます。

生活支援物資につきましては、塩尻市の中では保健福祉センターの中にございますまいさほ塩尻で生活困窮の支援を行っておりまして、食料品であるとかマスクであるとか、そういったものを相談を受けながら支援していると承知しておりますし、それ以上困窮されている方につきましては、国の制度でございます生活保護の制度を活用する中で、支援が行き届いているものと承知をしております。それ以上は私どもでは承知をしておりますので、よろしく願いいたします。

小林委員 生理につきましては、日本一子育てしやすい塩尻市を目指していくのですから、やはり女性として大事な体の部分のことなので、予算がなくなったからといって途切れることがないように頑張ってくださいなと思います。よろしく願いします。

赤羽教育長 よろしいでしょうか。続いて碓井教育長職務代理者お願いします。

碓井教育長職務代理者 コロナの関係に戻ってしまうのですけれども、コロナ禍の学校生活への影響についてお伺いしたいと思います。昨年春の臨時休校で、学習の不安を感じた児童生徒が60%前後だったという報道が最近ありました。臨時休校のとき、先生方は、家庭学習の

課題の準備や家庭訪問をしていただいたり、急遽オンライン授業などを試行されたりして、大変頑張っていたかと思いますが、6割程度の子が抱いた学習の不安については、個々の家庭の状況によっても差はあるかと思いますが、対面の授業で実際に教わらないと、やはり理解しにくいのだらうと思います。休校明けの授業は、配慮はあっても、どうしてもスピードは早くなってしまいがちのために、そういう思いを持ってしまふのだらうとも思います。このようない点については、非常時ですので仕方ない面もあると思います。塩尻市内でも同様の傾向があるかと思いますが、そんな点はいかがだったのでしょうか。

また、学校を楽しいと思う子の割合も減っているということでした。学校は基本的に、行くのが楽しいと思える場所にしないではいけなないと思います。友達と触れ合って遊ぶことが制限されたり、行事の中止あるいは縮小というような状況になったり、給食も黙って前を向いて食べなければいけななったり、そんな状況があったりして、それもある面仕方がないかなと思います。しかし、コロナ禍による環境の変化で、ストレスを抱えそれを発散する機会が少ないのも少し心配かなと思います。また、臨時休校のときに、生活のリズムを崩してしまふて、学校に行きづらくなつてしまつたというお子さんが増えたという傾向が見られる状況もあるのでしょうか。私の家の近くの道を、少し遅い時間に歩いている子を時々見かけたりするわけですが、そんな点についてはいかがでしょうか。

赤羽教育長 黒澤先生、学力テストの調査と、今、碓井教育長職務代理の質問とかぶっているところありませんか。急にですが、お願いします。

黒澤主任学校教育指導員 学力テストの結果の分析は、またまとめて教育委員会にかけたいと思いますけれども、質問用紙の中にある「学校が楽しいか」という質問につきましては、一昨年度とほとんど同じパーセンテージで、国と比較して、ほぼ同じような様子だと思います。今回取り上げてみた、「将来の夢や希望を持って生活しているか」という質問についても、80%ぐらいの子どもたちはそういう気持ちで生活しているという答えで、現時点では前向きに考えながら生活をしている様子はどうかがえます。そのくらいでいいですか。

赤羽教育長 ありがとうございます。

碓井教育長職務代理者 学力テストの調査結果も踏まえてまたお聞きしたいと思いますが、逆に、子どもたちはコロナ禍で、学校に登校できない期間を経験したことで、ふだんの学校生活の大切さとか、日常の授業のよさを感じたお子さんもいるのではないかと思います。コロナ禍が収束しないとなかなか難しいかと思いますが、そのような点については大事にして、今後の学校生活を送ってほしいなと願っております。以上です。

赤羽教育長 ありがとうございます。

コロナ禍での学校の教育だとか、どのような対策したのかとか、どんな子にそのあと育ててほしいかというような内容について私が9月の中旬に市民タイムスにインタビューを受けました。市民タイムス 10月1日号にその特集が載るのだそうです。今、碓井教育長職務代理者が心配されたようなことも踏まえて、現状を話して、子どもたちが夢を持てるようになればいいと思っています。余分なお話でした。大事なところを、ありがとうございます。

赤羽教育長 ほかはよろしいでしょうか。ありがとうございます。

それでは、次に行きたいと思います。

○報告第1号 主な行事等報告について

赤羽教育長 報告第1号、主な行事等報告についてお願いいたします。資料の1ページ、2ページです。事務局から主な行事について説明をお願いいたします。

中村文化財課長 資料1ページ、お願いいたします。下段です。8月3日から8月29日まで、広丘夏まつりに併せて実施しました第5回灯籠短歌大会です。こちらは、短歌館と塩尻短歌館協力会が共催し行っております。広丘夏まつりに併せて実施しているもので、短歌を募集し、入選した短歌を灯籠に貼り、広丘駅前商店街の街灯に設置したのになります。今年は、広丘夏まつりそのものが中止になってしまいましたので、街灯に飾るものだけになってしまって、人の目にはなかなか触れる機会は少なかったかと思います。ただ、投稿数としましては、学校（小学校それぞれ、各高等学校）、それから企業（八十二銀行広丘支店）から団体の投稿もありまして、最終的に1,053首、過去最高の投稿数となり、投稿としては非常に大盛況だったというところでございます。それから、夏まつりで、本来であれば入賞者に賞状授与がございましたけれども、今回は短歌館で行われたものですから、親御さんと一緒に見えた児童生徒の皆さんが短歌館を見学される機会となり、短歌館を知っていただくという機会にもなりました。

それから、2ページの一番下、短歌大学第3回も行われましたので、そちらについては御覧いただければと思います。以上です。

赤羽教育長 ありがとうございます。続いて図書館長お願いします。

上條市民交流センター長（図書館長） 2ページの2段目を御覧ください。8月21日土曜日に信州しおじり本の寺子屋図書館開館50周年記念講演、養老孟司氏講演会「これだけは言っておきたかった」という演題で開催いたしました。市民タイムス創刊50周年にも重なりまして、共催事業として行いました。市民タイムスの記事掲載などもございまして、これまで以上に幅広い周知ができました。初めてのレザンホール大ホールでの開催でございましたので、1,300人を超える皆様方に応募を頂きまして、新型コロナの対策のため、塩尻市民限定に抽選をして開催いたしました。参加者550人ということでございます。講演の内容につきましては、委員の皆様方にも御聴講いただいたとおりでございます。アンケートの68%が初参加であるということで、市民の皆様方に本の寺子屋事業をより知っていただく機会になりました。以上です。

赤羽教育長 ほかはよろしいですか。ありがとうございます。

では、委員の皆様から御質問や御意見ありましたら、ここでお願いいたします。

石井委員 図書館長より御報告がありました50周年記念講演会、養老先生の講演ですけれども、お招きいただきありがとうございます。なかなか開催に当たっては、迷いと不安もあったかと思うのですが、参加させていただきまして、やっぱりああいった規模の大きな事業は、あったほうがいいな、楽しかったなと素直にそんなことを感じるとてもよい機会になりました。これから先も企画はたくさんアイデア出てくると思うのですが、実現になるものは、もしかすると数はなかなか増えてこないんじゃないかという気もいたしますが、ぜひそれにめげず、市民の皆さんに有意義なものを発信していただきたいと願っております。ありがとうございました。

赤羽教育長 続けてどうでしょうか。よろしいですか。

碓井教育長職務代理者 石井委員と同じなのですが、養老孟司先生の講演会にお招きいただいて、大変ありがとうございました。なかなかお聞きすることのできない方の講演会で

あって、子どもが幸せである社会だとか、AIの考え方とか、脱成長等について、考えさせていただくことができたと思います。大変有意義な時間を過ごさせていただきました。ありがとうございました。

小林委員 私も、参加させていただいてありがとうございました。親としてちゃんと子どもを遊ばせていたかなとすごく反省をさせられました。やはり子どもが自由に遊べるには、今、危険が多かったり、先ごろも、2年前に行方不明になった女の子のことが報道されていたりするから、自然に連れて行ったからといって、一人で遊ばせるというのも、考えると、なかなかそういうことができる状況が減ってきてしまったのだろうなと思って。親がというか、そういうふうに子どもたちを自由にさせてやりたいと思ったら、周りの大人たちがかなりの努力をしないと、なかなか、養老先生のおっしゃったような環境をつくってあげられないのかなと思ってお聞きしていました。聞いただけになってしまって、それを自分だったらどうするのだろうと、そこまでは至らなかったのですが、もし自分に孫ができたなら、精いっぱい遊んでやろうかなというふうには思った次第です。

私ごとなんですけれども、養老先生には以前「パラシュート学習法」という本ですごく励ましていただいた経験があったので、実際にお会いできて、とてもうれしかったです。本当にありがとうございました。

赤羽教育長 一言ありますか。お願いします。

徳武委員 私も本当に、こうやって招待していただかなければ聞くことができなかつたと思います。すごくいい機会でありありがとうございました。本当に、子どもの目線に立ってものを考えてやることって大事だなと思って。先生の言われたとおり、子どもも朝から夕方まで走り回っていれば、よく寝る、本当にそのとおりだと思いましたし、先生の子どもの頃、東京からこちらに電車で1人で乗って来られたという話が、私、とても印象的でした。私も、できればそういうことをすごく今、させたくて、ちょっと友達の家に行くときに、なるべく地域振興バスに1人で乗せたりしているのですけれど、そういうのが今は危ないとか危険だというのが、バランスがすごく難しいです。

本当に面白かったと思います。ありがとうございました。

赤羽教育長 感想をありがとうございました。図書館長、よかったということです。ありがとうございました。

短歌館との広丘夏まつりで、1,053首が集まったと。すごいなと思って担当者に聞いたのですが、今年多かった理由は、吉田小に声をかけたそうです。吉田小も毎年、やっているのですよね。やはりそれが応募数につながったということでした。この数はすごいなと、私も思いました。担当されている短歌館の関係者の方の努力もまたすごいなということも改めて思いました。ありがとうございました。

では、次に行きたいと思います。

○報告第2号 10月の行事予定等について

赤羽教育長 報告第2号です。10月の行事予定等についてお願いいたします。資料3ページです。皆さん全員に関わるものは、10月8日に長野県市町村教育委員会研修総会、28日に定例教育委員会・協議会がありますので、皆様の出席をお願いします。

それから、市内中学校合同音楽会、本の寺子屋、短歌大学などたくさん行事があります

ので、御都合のつくところに御参加いただければと思いますのでよろしく願いいたします。
見ていただきまして御質問等ありましたら、お願いいたします。

石井委員 10月8日、長野県市町村教育委員会研修総会、場所はオンラインとなっておりますが、どのような方法で行うのでしょうか。

佐藤教育企画係長 市役所の会議室で、プロジェクターの画面を共有して受ける形になります。

石井委員 ありがとうございます。

赤羽教育長 ほかにはどうでしょうか。よろしいでしょうか。
ありがとうございます。では、次に進みたいと思います。

○報告第3号 後援・共催について

赤羽教育長 報告第3号に入ります。後援・共催についてですが、資料4ページであります。同じく御質問、御意見がありましたらお願いいたします。
よろしいでしょうか。ありがとうございます。では、次に進みたいと思います。

4 議事

○議事第1号 塩尻市立小・中学校管理規則等の一部を改正する規則

○議事第2号 自家用車の公務取扱規程及び塩尻市小・中学校職員服務規程の一部を改正する訓令

○議事第3号 塩尻市芸術文化振興事業補助交付要綱等の一部改正

赤羽教育長 議事第1号、塩尻市立小・中学校管理規則等の一部を改正する規則、資料5ページ、6ページであります。それでは、事務局から説明をお願いしたいと思います。

太田こども教育部次長（教育総務課長） それでは、議事第1号、塩尻市立小・中学校管理規則等の一部を改正する規則について御説明申し上げます。

議事第1号から議事第3号までにつきましては、市役所庁内において進めております業務に関する押印の見直しに関連して、教育委員会関係の例規を改正するものでございます。改正の理由につきましては、行政手続等における申請者の負担軽減及び行政事務の効率化を図るために、押印の見直しを行うことに伴い、必要な改正をするものです。

改正案の概要につきましては、押印を求める規定を、原則として削除するものです。改正の案文につきましては、以下に記載のとおり、11の規則について、主に「印」の文字を削る改正をするものです。

施行日につきましては、令和3年10月1日から施行するものです。説明は以上です。

赤羽教育長 委員の皆様から御質問、御意見がありましたらお願いしたいと思います。

石井委員 お願いいたします。今の議事第1号、それから議事第2号、第3号、これは印鑑をなくすという同じ内容になりますか。

太田こども教育部次長（教育総務課長） そのとおりです。

石井委員 それぞれの皆様が、恩恵といいますか、それぞれ影響も出てくると思うのですが、どのようなことを期待されていますか。

太田こども教育部次長（教育総務課長） 全て庁内の業務に携わるものになってきますので、まずはお客様が印鑑をお持ちいただかなくてもいいということになってきます。それから、

申請上も基本的には印を押さないのので、署名、自署できれば手続きが済むということで、申請される方、住民にとっては、かなりメリットがございます。我々のほうも、押印の押し忘れについて一々呼びかけしないで済みますし、行政での効率化という部分では、かなりメリットがあると考えています。ただ、一部どうしても印鑑がなくなる業務もございますので、その辺については上手に周知していくようになるかと思えます。以上です。

石井委員 ありがとうございます。恐らくこれは、公的なところで取り組みが始まると、一般的にと言いますか民間でも広がっていくのかなと感じております。恐らく今まで見えなかったものがちらほらと、抜け穴と言っては非常に言葉は悪いですがけれども、よからぬ方面の話も心配されないことはないと思えます。危機感を持ちながら、民間のよいお手本になるように努めていただければと思えます。よろしくをお願いします。

赤羽教育長 そのほか、御質問、御意見あったらお願いいたします。ほかにはよろしいでしょうか。

それでは、順を追って採決したいと思います。まず、5ページ、6ページの議事第1号につきまして、原案どおり決することよろしいでしょうか。

〔「異議なし」の声あり〕

赤羽教育長 異議なしということで、原案のとおり決することといたしました。

続きまして、議事第2号です。7ページ、8ページにつきまして、原案のとおり決することよろしいでしょうか。

〔「異議なし」の声あり〕

赤羽教育長 異議なしと認め、原案のとおり決することといたしました。

最後、議事第3号です。9ページ、10ページであります。これにつきまして、原案のとおり決することよろしいでしょうか。

〔「異議なし」の声あり〕

赤羽教育長 異議なしとの声であります。それでは、原案のとおり決することといたします。

それでは、本日予定されておりました案件は以上ですけれども、そのほかで委員の皆様から何かありましたらお願いいたします。

ありがとうございました。事務局から、お願いいたします。何かありますか。

5 閉会

赤羽教育長 それでは、以上をもちまして、9月定例教育委員会を閉会といたします。ありがとうございました。

○ 午後2時24分に閉会する。

以上

令和3年10月28日

署 名

教 育 長

同職務代理者

委 員

委 員

委 員

記 録 職 員 教 育 総 務 課
教 育 企 画 係 長
